



スロージンクロ

Slow Synchro





好きって言葉も
何かと触れて
くるのも

出会ってからずっと
俺のこと本気だつて
言うけれど

大城さんには
日常的なことだ...

そんなあなたの
どこからが
特別の「好き」で

どんなふう
に触れられたら
本気なのかってこと

俺には全然
わからない

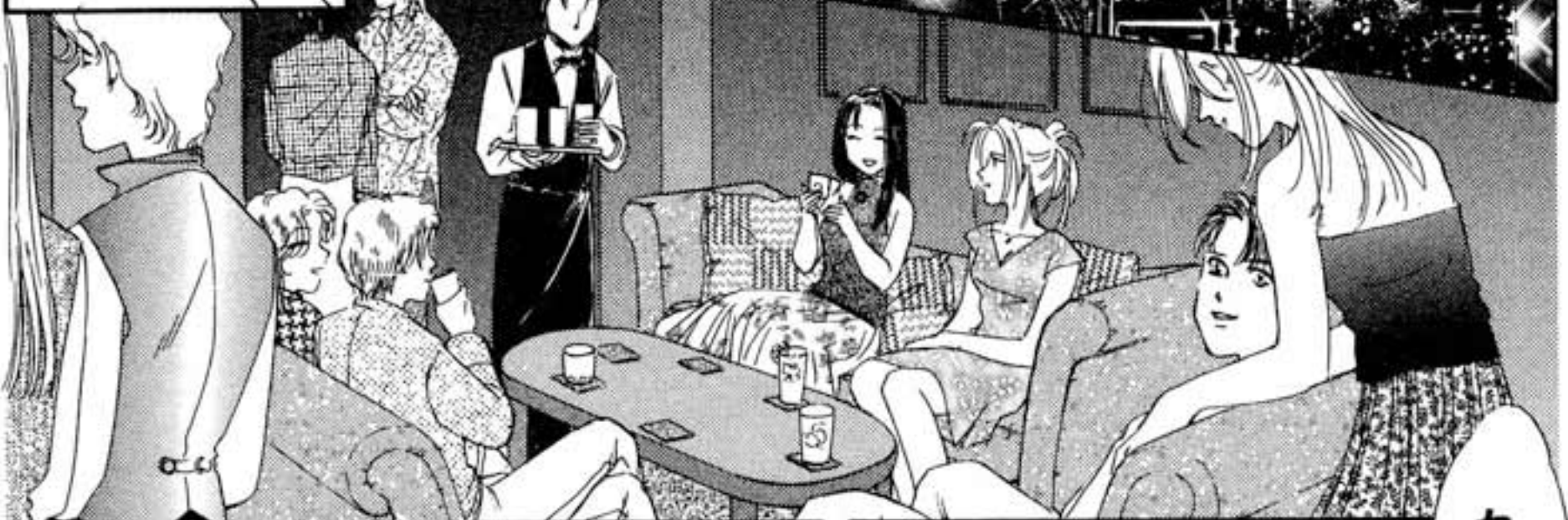


あなたのこと
知りたいと思うのに

俺はあなたに
少しも近づけない
気がする

今日も一日
お疲れさま

カンパニー



セーせ

飲んでる
—？

なんだ
恵理ちゃん
もう酔ってん
のかー？

セーせ
久しぶりに
ちゅーしよ♡



おいおい
…っん

ん—





あらま

ご気嫌
ナナメだな



ほーらナオ
スネてないで
こっち向いて

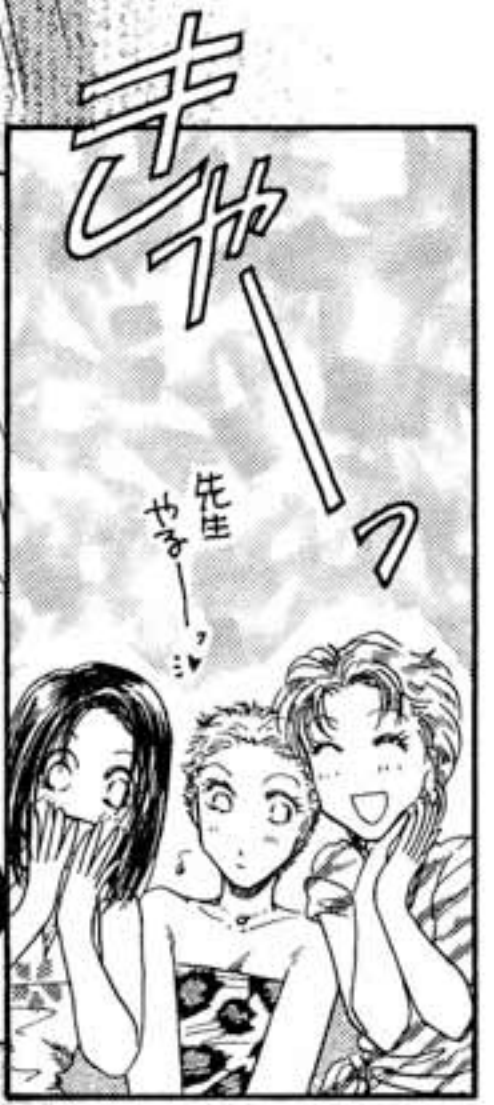
なにす…

…っ



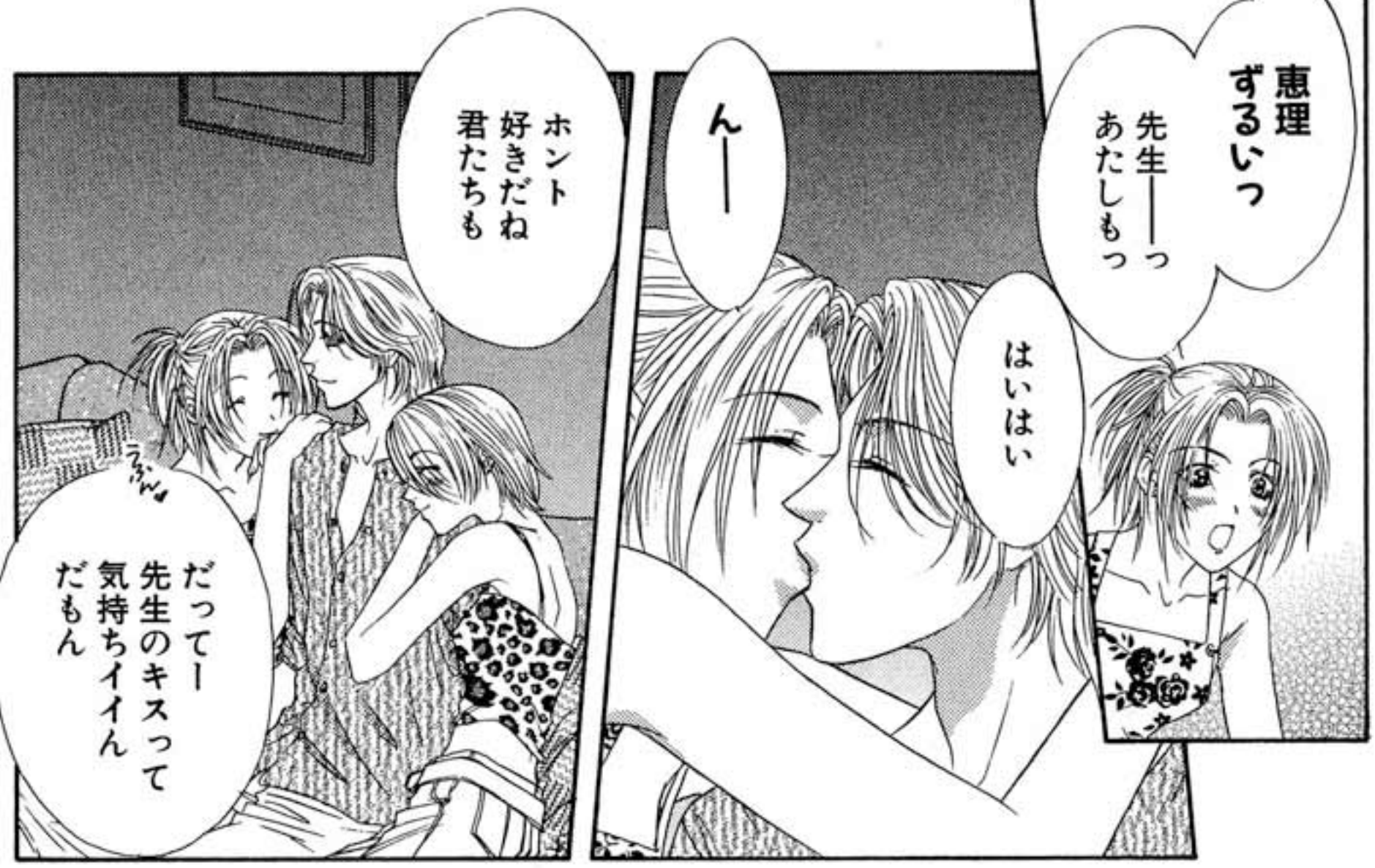
ん…

ふ



キヤ

先生
さま



惠理
ずるいっ

先生—っ
あたしもっ

はいはい

ん—

ホント
好きだね
君たちも

だって—
先生のキスって
気持ちイイん
だもん



おっ

嬉しいこと
言ってくれ
ちやうねえ

ふふっ



どーした?
ナオ

やけに
静かだな

俺のことは
ほっといて
いいよ

む。



こんなんで
好きだつて
言われても

信じられるわけ
ないじゃないか

あんなぶつに...

他の子と同じように
キスされて
何で俺が嬉しいと
思うんだよつ

バカバカ

大城のバカつ

ナオつ



ふあ...

気嫌なおった?



...バカツ



やっぱり
あんなつて
サイテーっ

ナオ!?

帰るっ



ナオ

